

第1号様式（第8条関係）

事業計画書

事業名 (分野)	事業の概要 (目的、事業内容、実施予定期間、実施予定場所、参加予定者数を記入)
【事業統括】 まちの魅力を伝える プロジェクト	(1)地域住民に当協議会の活動と地域のイベントを広く知ってもらうため、まちづくり通信「よこおびと」を年4回発行する。 また、町外の人たちに(子育て世代等を中心に)、横尾小学校区のことを知ってもらうため、市のホームページや当協議会のSNSなどにより、活動を積極的に発信していく。 ・実施期間：まちづくり通信「よこおびと」は年4回（春・夏・秋・冬）発行 ・発行部数：2,700部 【予算内訳】 ・印刷製本費 (1) よこおびと発行@243,000円(消費税含)×4回=972,000円 @82円×2,700部*×1.1(消費税)=243,000円(消費税含概算) デザイン料含む 原則8ページ 予算計 972,000円
【事業統括】 まちの将来像など周知 プロジェクト	(1)まちづくりに対する住民の意識を深めるため、平成31年に作成し横尾郵便局に設置をお願いしている「笑顔でつながるALL(オール)横尾」及び「子ども達の交通安全看板」、「花いっぱい運動周知ターポリン」の点検、清掃、管理を年2回事業所に委託し実施する。 ・事業期間 通年 ・事業場所 ※1 まちの将来像の周知看板 横尾地区ふれあいセンター、だんじり保存会、横尾公民館、横尾郵便局、滑石郵便局 全5枚 ※2 子ども達の交通安全の周知のための注意喚起看板 センター保育園他全14枚 ※3 花いっぱい周知ターポリン 秋寄公園、河川敷 2枚 全21枚 ※令和8年度 公共工事設計労務単価 1日 21,900円 【予算内訳】委託料 48,000円 予算計 48,000円

【事業統括】 協議会の運営	(1)協議会の円滑な運営のため、事務員（1名）を配置する。 ・事業期間：通年 ・事業場所：横尾地区ふれあいセンター (2)その他 プリンターのトナー等の購入を行う。 【予算内訳】 ・人件費 @1,200円×7.25H×82日 25h時間外=743,000円 ・消耗品費(プリンタートナー等) 330,000円 ・印刷製本費(総会等コピー資料印刷) 30,000円 ・通信運搬費(切手購入等) 10,000円 ・食糧費お茶代 10,000円 延べ100名総会等会議参加予定 ・修繕料 28,000円 ・その他（交付対象外経費） 消耗品費等44,073円 ・予算計 1,195,073円
【子ども育成】 多世代で楽しく プロジェクト	(1)子ども達に地域の歴史文化を継承し、まちへの愛着を持ってもらうために、まちを巡るウォークラリーや米作り体験を行う。また、地域と子ども達との交流を推進するため、横尾盆踊り、鬼火焚き等地域の行事と同日にゲーム大会を開催する。 (2)長崎外国語大学の留学生と子ども達との交流の場を設けるなど、子ども達のグローバル感覚を育てるイベントを開催する。 ・事業期間：ウォークラリー（6月）、米作り体験（6、10、11月） ・ウォークラリー（400名）、米作り体験（延べ250名：小学4年生 ・だんじり保存会ほか、外国語大学生との交流会（50名） ・事業場所：横尾小学校区内ほか 【予算内訳】 (1)横尾盆踊り・鬼火焚きでの参加賞 ・消耗品費(参加賞等)=200人×2回×220円=88,000円 (2)外国語大学の留学生と子ども達との交流イベント ・消耗品費(参加賞)10人×10回×220円=22,000円 ・消耗品費(お茶菓子等購入)50人×200円=10,000円 ・予算計 120,000円

【安心・安全】

イノシシ対策
プロジェクト

(1) 住民が安全・安心に暮らせるよう、イノシシ対策としてワイヤーメッシュの設置を平成30年度より令和7年度の8年間に845mを設置した。今年度はワイヤーメッシュの新設はせず、今まで実施したワイヤーメッシュの維持管理を強化する。ワイヤーメッシュの管理については、専門的な作業を伴うことから業者に委託し、完全な状態を管理することが必要である。令和9年度から新設については検討したい。

- ・事業期間：（通年）
- ・維持管理 事業場所 横尾小学校区全域

(2) 鳥獣被害対策講話の実施 イノシシに遭遇してしまった時の対処法などを中学生の子どもたちに知ってもらうため講習会を実施する。

- ・場所 横尾中学校体育館 250人予定 講師料 無料
- ・回数 1回

【予算内訳】

- ・委託料(ワイヤーメッシュ維持管理) 193,000円
- ※令和8年度 公共工事設計労務単価 1日 21,900円

・予算計 193,000円

【安心・安全】 多世代が安全・安心な まちプロジェクト	(1)子どもの安全を確保するため、危険を感じた時に駆け込める「こども110番の家」を地区内に追加配置し、ウォークラリーなどで子ども達へ周知を図る。 ・事業期間：通年 ・実施場所：横尾小学校区全域 ・設置場所：地区内に全80カ所のうち未設置34ヶ所設置を進める。 (46箇所設置済み、<u>設置場所及び周知ステッカーの確認を実施する。</u>) (2)子どもを守るネットワーク 地域の安全確保のため、学校やPTAと連携しながら、危険箇所点検を兼ねた巡回パトロールを行う。そのうち7月を強化月間と位置づけ、地域住民の理解と関心を高めるため、啓発的なパトロールを実施する。 ・100人パトロールの実施 年に1回 7月に実施 ・ネットワークパトロールの実施 年4回実施 ・情報交換会の実施(部内会議で共有) (3)横尾連合自治会自主防災組織を主に、自助・共助・公助の連携で地域防災力の向上を図っていく。また、当地域内の防災リーダーは19人任命されているが高齢化が進み、引退される方も増えてきている。防災リーダーの役割は大きいことから、<u>新たに防災リーダーになる方を募集したい。</u>そのための協議会として、2日の講習会の旅費を支給する。<u>今年度は5名募集する。</u> (4)子育て世代が安心・安全に暮らせるまちにするために、長崎市の指導のもと令和7年度までに13回のワークショップを実施し、3公園の整備を行っている。長崎市の計画に沿って他の公園についても公園の在り方、子ども達が安全に遊ぶことができる公園・遊具等について引き続き実施に向け協議していく。延べ250人予定(年3回実施予定) 【予算内訳】 ・食糧費(100人パトロール、ネットワークパトロール,スタッフお茶等) 延べ500人×100円=50,000円 ・旅費(防災リーダー研修)400円×4回×5人=8,000円 ・食糧費(ワークショップお茶代) 250人×100円=25,000円 予算計 83,000円
---	--

【健康福祉】 健康で長く元気に プロジェクト	連合自治会50周年を過ぎ、地域の高齢化が進む中、高齢者の「フレイル予防」の取り組みが重要な課題である。日常生活において、自分で買い物に行ける体力を維持することが必要であり、地域においてもそのための支援を進める中で、健康福祉部では体力づくりを中心としたサロンや、地域でのプロの演奏が聴けるコンサートなどを開催する。 ・実施期間：令和8年8月～令和9年2月(偶数月) ・実施場所：横尾地区ふれあいセンター及び横尾小学校体育館 ・えがおサロン 280名程度(70名×4回) 【予算内訳】 ・謝礼金(グリーンブルー等プロの演奏会・講演会及び笑顔サロン講師料) 90,000円＋その他の講師料5,000円×2時間×3回= 120,000円 ・消耗品費 10,000円 ・予算計 130,000円
【環境・歴史文化】 学びの道等花いっぱい プロジェクト	住民や子ども達に誇りと愛着を持ってもらうため、横尾中学校の学びの道などまち全体を「花いっぱいにする活動」を継続し、花苗を河川敷や公園、街路樹の周りなどに植える。さらに、イベントに使用する機材、苗などを購入する。また、桜の里復元のため、ふれあい坂をはじめ順次、選定作業を4回行う。 ・実施期間：年間を通して4回程度 ・実施場所：学びの道、公園、横尾小・中学校内など ・学びの道整備 延べ120名(30名×4回) 【予算内訳】 ・消耗品費(スコップ・刈込ばさみ・鎌等) 15,000円 (花、苗 年に1回) @100円×300本=30,000円 ・食糧費(お茶等) 100円×20名×4回=8,000円 ・桜の木選定・植樹関係 ・備品購入費(剪定用チェーンソー) 90,000円×2台=180,000円 ・消耗品費(薬品等) 10,000円 ・食糧費(お茶) 100円×20名×4回=8,000円 ・予算計 251,000円

【環境・歴史文化】 環境整備プロジェクト	横尾小学校、中学校の斜面やグリーン広場、地区内の公園など、緑の美しいまちをめざして、雑草が繁茂した場合に、年に20回程度の草刈りを行う。 年に1回程度地域全体で一斉清掃（40名程度）を行う。 ・実施期間：年間を通して15回 ・実施場所：横尾小学校、横尾中学校の敷地の斜面部分、グリーン広場、地区内の公園、道路端 ・草刈り 延べ60名（2～5名×12回）及び一斉清掃40名程度 【予算内訳】 ・消耗品費 草刈機替刃 10,000円 ・燃料費(草刈り機燃料) 10,000円 ・修繕料 22,000円 ・食糧費(お茶等) 100円×100名=10,000円 ・予算計 52,000円
------------------------------------	--